

記念館新聞



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

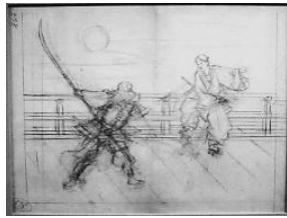
企画展 松岡映丘画稿展 ～やまと絵風景画の美～

記念館では、5月28日(日)まで、松岡映丘画稿展を開催しています。今年のテーマは、やまと絵式で描いた「風景画」です。

映丘は従来、やまと絵の背景や添景であった山水表現を独立した画題として取り上げ、やまと絵式の独自の風景画として本格化させることを模索しました。そして、大正初期に映丘がはじめた、やまと絵風の風景画はその後生涯にわたり映丘が



▲画稿「富嶽茶園之図」
本絵は御大典記念献上画として制作。



▲補修画稿「牛若丸」(牛若丸と弁慶)

探究し続けた主題となり、「富嶽茶園之図」や「さつきまつ浜村」など、大画面に雅で美しい風土性を描き、高く評価されました。本展では、こうした大作をはじめ、昨年度補修した作品を紹介しています。

名作著書紹介



故郷七十年を 読む

松岡映丘は、日本の古典絵画「やまと絵」の再生と継承に尽力した画家でしたが、58歳という若さで生涯を閉じました。14歳の頃から橋本雅邦に師事し、その後やまと絵住吉派の画家山名貫義が新たな師となりました。山名の死去後は、小堀鞆音のもとで指導を受け、東京美術学校で「やまと絵」の助教授として指導補佐する立場となりました。國男は映丘について、「輝夫は迷わずに、ずっと小堀さんについて」「昔あったような絵具がいまはないとか」「絵具の使い方がどうしても判らない」というような「技術上の障害」があった中、「いろいろ工夫して自分で道を開いていった」と評しています。

～補修された画稿～

松岡映丘画稿展では、やまと絵風景画に加え、記念館新聞1月号でも取り上げた「牛若丸(牛若丸と弁慶)」も展示しています。裏打ちを施し、額装して、このたびようやく展示できるようになりました。

牛若丸の足の運び、弁慶のなぎなたの角度、2人を照らす月の大きさなど、武者絵を愛した映丘の制作過程を追うことのできる画稿のひとつです。

ぜひ会場でご覧ください。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

- ☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)
- ☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日～1月4日
- ☆入館料
無料

大庄屋三木家住宅を探検しよう!!

一建造物見学会の参加者募集一

県指定文化財 三木家住宅の主屋(表座敷)は、312年前に建てられました。この建物に隠された謎や秘密を、建築の専門家といっしょに探検する見学会を開きます。動きやすい服装でご参加ください。

- 日時: 5月28日(日)
1回目: 10:30～
2回目: 13:30～
- 講師: 尾瀬耕司さん
(神戸建築文化財研究所)
- 定員: 各回とも15名
(先着順、定員になり次第締切)
- 申し込み方法: ①氏名(参加者全員分)
②住所③電話番号④希望回を添えて、電話・ファックス・Eメールで、5月23日(火)までにお申し込みください。

■申込・問い合わせ先
福崎町教育委員会 社会教育課

TEL 22-0560 (内線 256)
FAX 22-0630
MAIL syakai@town.fukusaki.hyogo.jp



待望の三木家主屋公開!

館日記

主屋に関連する保存修理工事を終え、4月8日(土)、大庄屋三木家住宅の主屋部分が開かれました。今後、土曜日、日曜日、祝日に公開されます。

大庄屋らしい豪壮な建物はもちろんのこと、柳田國男が幼少期を過ごし、倉本櫟山らが交流した「文化の発信点」としての三木家の貴重な資料も見ることが出来ます。左の案内のとおり、見学会も実施されますので、ぜひご参加ください。